

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	桜ファーマーズ
住 所	熊本県宇城市松橋町竹崎1909-10
電話番号	0964-53-9434

事業所番号	4312700752
管理者名	木永 恵
対象年度	令和4年度

(Ⅰ) 労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		40	点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満			
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満			
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満			
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			

①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(Ⅱ) 生産活動

①前々年度及び前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上	○	40	点
②前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上			
③前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満			
④前々年度及び前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満			

①40点 ②25点 ③20点 ④5点

(Ⅲ) 多様な働き方(※)

①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度		就業規則等で定めている		
②利用者を職員として登用する制度		就業規則等で定めている		
		就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		就業規則等で定めている	○	
		就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎④フレックスタイム制に係る労働条件		就業規則等で定めている	○	25
		就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎⑤短時間勤務に係る労働条件		就業規則等で定めている	○	
		就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎⑥時差出勤制度に係る労働条件		就業規則等で定めている		
		就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		就業規則等で定めている	○	
		就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎⑧傷病休暇等の取得に関する事項		就業規則等で定めている		
		就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
小計(注1)				6

(※) 任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(Ⅳ) 支援力向上(※)

◎①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		○	15
参加した職員が1人以上であった			
参加した職員が半数以上であった			
◎②研修、学会等又は学会誌等において発表			
1回の場合			
2回以上の場合			
◎③視察・実習の実施又は受け入れ			
どちらか一方のみの取組を行っている			
いずれの取組もを行っている			
◎④販路拡大の商談会等への参加			
1回の場合			
2回以上の場合			
◎⑤職員の人事評価制度			
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している			
◎⑥ピアサポーターの配置			
ピアサポーターを職員として配置している			
◎⑦第三者評価			
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。			
◎⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等			
都道府県知事が適当と認めるISOが定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている			
小計(注2)		1	点

(※) 任意の5項目を選択すること (注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(Ⅴ) 地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10
--	---	----

1事例以上ある場合:10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	40
生産活動	5点	20点	25点	40点					40
多様な働き方	0点	15点	25点	35点					25
支援力向上	0点	15点	25点	35点					15
地域連携活動	0点		10点						10

合計

130

点 / 200点

(Ⅰ) 労働時間

前年度（ 4年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間

33,013

時間

雇用契約を締結していた延べ利用者数

7,405

人

利用者の1日の平均労働時間数

4.46

時間

(Ⅱ) 生産活動

前々年度（ 3年度）

生産活動収入から経費を除いた額

19,472,484

円

利用者に支払った買金総額

17,517,981

円

収支

1,954,503

円

前年度（ 4年度）

生産活動収入から経費を除いた額

32,225,190

円

利用者に支払った買金総額

28,573,788

円

収支

3,651,402

円

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（4年度）における実績（全体表「(Ⅲ)多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を活用した人数 名

※取得を進めた免許等：

制度の活用内容：

②利用者を職員として登用する制度

◎職員として登用した人数 名

◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している ◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している

※登用した日 年 月 日

勤務形態：

就業時間： 時 分～ 時 分

職務内容：

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎在宅勤務を行った人数 名

※実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（在宅勤務）： 時 分～ 時 分

職務内容：

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制を活用した人数 名

※実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（コアタイム）： 時 分～ 時 分

職務内容：

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に従事した人数 名

※実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（短時間）： 時 分～ 時 分

職務内容：

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度を活用した人数 名

※実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（早出の場合）： 時 分～ 時 分

就業時間（遅出の場合）： 時 分～ 時 分

職務内容：

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎時間単位取得を活用した人数 名

◎計画的付与制度を活用した人数 名

※取得した制度 有給休暇の時間単位取得 計画的付与制度

取得した期間： 月 日～ 月 日

取得日数・時間 日 時間

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等を取得した人数 1名

※取得した内容：入院等

取得した期間： 令和4年4月27日～7月4日

就業時間： 時 分～ 時 分

職務内容：

(※)当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（4年度）における実績（全体表「(Ⅳ)支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している

◎研修実施回数 外部 回/内部 回

対象職員数 11人

うち研修受講者数 7人

※研修 株式会社さくら 担当者 富田 大

研修日 月 日

実施日・受講者数 10月10日 7人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において

発表している回数 回

※研修、学会等名

実施日 月 日

月 日

発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している ◎他の事業所の視察・実習を受け入れている

※先進的事業者名

実施日/参加者数 月 日 人

※他の事業所名

実施日/参加者数 月 日 人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会等への参加回数 回

※商談会等名

主催者名

日時 月 日

内容

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している ◎当該人事評価制度を周知している

人事評価制度の制定日 年 月 日

人事評価制度の対象職員数 名

うち昇給・昇格を行った者 名

当該人事評価制度の周知方法

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している

◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」

を受講している

※配置期間 月 日～ 月 日

就業時間

職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に

福祉サービス第三者評価を受けている

※評価を受けた日 月 日

第三者評価機関

⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント

規格等の認証等を受けている

※認証を受けた日 月 日

規格等の内容

(※)実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	桜ファーマーズ	事業所番号	4312700752
住所	熊本県宇城市松橋町竹崎1909-10	管理者名	木永 恵
電話番号	0964-53-9434	対象年度	令和4年度

地域連携活動の概要

＜活動内容＞	＜活動の様子＞
<p>＜活動場所＞ JSファーム株式会社・株式会社さくらファーム・株式会社大寫屋・JA熊本市西南営農センター・有限会社 中田食品</p> <p>＜実施日程＞ 令和2年5月～現在まで</p> <p>＜実施した生産活動・施設外就労の概要＞ ペットフード製造・食肉加工製造・牧場内軽作業・果物、野菜の選果、精肉（加工品）計測等</p> <p>＜利用者数等＞</p>	<p>＜活動の様子の写真＞ ペットフード計量/梱包</p> 
<p>＜目的＞</p> <p>＜地域連携活動のねらい＞ 他者との関わりを持つことで社会性を身につけ一般就労に向けての作業技術の向上を目指す。畜産と福祉の新たな共存の形の構築。</p> <p>＜地域にとってのメリット＞ 人員不足の解消に伴い生産性が向上し売り上げ高の増加</p> <p>＜対象者にとってのメリット＞ 得手不得手を知り自身に適した作業を見出すことができる。また、JAの作業、母体会社での正規雇用という次のステップアップを提示する事が可能。</p>	<p>JA熊本市西南営農センター（野菜の選別）</p> 
<p>＜成果＞</p> <p>＜実施した結果＞ 母体より社員を志向してもらって事で支援員の技術面を完全にカバーができ生産性をあげることができた。</p> <p>＜得られた成果＞ 母体会社で不足している人員のカバーを行う事で安定した作業の継続性と地域社会への貢献ができた。</p> <p>＜課題点＞ 就労される利用者ニーズを叶えるため様々な作業内容の構築。</p>	<p>牧場内軽作業風景 / 精肉（加工品）計測等</p> 

連携先の企業等の意見または評価

<p>【連携した結果に対する意見または評価】 さくらファームは創業より三年目を迎えましたが、全ての期間に渡って多くの利用者様に作業を行っていただいております。利用者様の能力は非常に高く、作業時間を重ねるにつれ効率が上がり、かつ最終製品は丁寧で美しい仕上がりとなっております。当初の品揃えは2品目だったのですが、現在では10品目以上の取扱いとなっており、その殆どは利用者様の作業によって創り出されています。手先が器用なうえ、真面目でやる気に溢れており、仕事に対する姿勢はさくらファーム従業員の強い刺激となっております。さくらファームにとって、利用者様は必要不可欠な大きな戦力です。</p> <p>【今後の連携強化に向けた課題】 さくらファームでは、新規取引先の件数を増やしており、それに伴い多くの新商品を開発・販売していくこととなります。そのためには、</p>			
連携先企業名	株式会社さくらファーム	担当者名	富田 大之